

全建発第28～110号  
平成28年 7月 5日

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久和

印省略

### 第625回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）の 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万1千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図るとともに、建設技術関係者の連携・交流をはかり、建設関係施策の円滑な推進と良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とする一般社団法人です。

現在、わが国においては、東日本大震災や平成28年熊本地震等自然災害が頻発しており、防災・減災等における国民の安全・安心の確保はもとより、社会資本の老朽化対策、ストック効果の最大化を図る効率的・効果的な社会資本整備の推進、i-Construction（建設現場の生産性革命）など、時代の要請にこたえた施策の展開を図っていくことが重要となっています。国民生活に関わる幅広い分野を所掌し、現場に強い建設技術者は、技術力や企画・立案、説明力、交渉力、現場力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供、現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっております。

このたびの第625回建設技術講習会では、これからの公共事業の展開について、公務員技術者の今後の役割について、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進について、これからの社会資本の品質確保とi-Construction（建設現場の生産性革命）について、新技術の推進について最新の情報を得ることを目的としています。本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会  
会長 大石 久 和 印省略

## 第625回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成28年9月14日(水)～16日(金)、札幌市において標記講習会を開催いたします。この講習会では、これからの公共事業の展開について、公務員技術者の今後の役割について、地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進について、これからの社会資本の品質確保とi-Construction（建設現場の生産性革命）について、新技術の推進について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は北海道・札幌市の共催(予定)、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

一般（非会員）		会員	
一般（非会員）（下記以外の者）	18,400円	—	—
北海道内の国・県・政令市に勤務	13,400円	正会員、特別会員、賛助会員	13,400円
北海道内の市町村に勤務	2,000円	30歳未満〔全国の正会員・特別会員〕	2,000円
		地元〔北海道内の国・県・政令市及び特別会員〕	
地元学生	0円	北海道内の市町村に勤務	0円

※聴講のみの参加は可能です ※昼食の斡旋はありません

※30歳未満〔全国〕及び地元〔北海道内の国・県・政令市に勤務、特別会員〕は割引価格のため、取り消しはできません

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：7,600円〔うち昼食代1,200円〕

※現場研修のみの参加はできません

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。

※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: [kensyu@zenken.com](mailto:kensyu@zenken.com)

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142

口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ

※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「625」をつけ加えて下さい。

※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：平成28年8月26日(金) 必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

① 平成28年9月2日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
② 平成28年9月9日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

- ・本講習会は、本会実施の「全建CPD（継続教育）制度」の認定講習会として【聴講：8.5単位、現場研修：3.5単位】が取得できます。
- ・講習会情報については、全建ホームページもご覧下さい。 <http://www.zenken.com/>

## 第625回建設技術講習会(これからの公共事業と建設技術者のあり方)日程

～公共事業が抱える諸課題と今後の事業の展開、公務員技術者の役割、  
社会資本整備の中長期的な品質確保と新たな技術研究開発推進の動向などを学ぶ～

- ・これからの公共事業の展開について
- ・公務員技術者の今後の役割について
- ・地域住民や民間企業との協働による公共事業の推進について
- ・これからの社会資本の品質確保とi-Construction(建設現場の生産性革命)について
- ・新技術の推進について

会場 …… かでる2・7(かでるホール)  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 TEL011-204-5100(代)



(1日目) 開場11:40		平成28年9月14日(水)		(敬称略)
12:40	あいさつ	国土交通省北海道開発局 局長	今 日 出 人	
13:00		北海道知事 札幌市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	高 橋 はるみ 秋 元 克 広 中 嶋 章 雅	
13:00	【全建70周年記念 基調講演】			
14:00	今後の公務員技術者の役割と使命(仮)	(一社)全日本建設技術協会 技術顧問	松 田 芳 夫	
14:10	これからの社会資本の品質確保とi-Construction (建設現場の生産性革命)について(仮)	国土交通省大臣官房技術調査課 課長	石 原 康 弘	
15:10				
15:20	【地元自治体の取り組みの紹介】			
15:40	オペレーター育成のための除雪機械の実技研修 開催について(仮)	札幌市建設局雪対策室事業課 課長	國 兼 崇 史	
15:40	【地域事業の紹介①】			
16:10	道央圏連絡道路について(仮)	国土交通省北海道開発局札幌開発建設部 千歳道路事務所 所長	大 野 崇	
16:10	【地域事業の紹介②】			
16:40	厚幌ダム建設事業における台形CSGダムの 施工について(仮)	北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部 厚幌ダム建設事務所 第一技術係長	高 杉 晋 吾	
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (18:15~19:45(予定))		ホテルモントレ札幌 1階「ケンジントン」 TEL011-232-7111		
(2日目) 開場 9:00		9月15日(木)		(敬称略)
9:20	社会資本政策のマネジメント(仮)	筑波大学システム情報系社会工学域 教授	石 田 東 生	
10:20				
10:30	土木広報のすすめ ～国民から信頼される公共事業のために～(仮)	(公財)日本道路交通情報センター 副理事長 大阪工業大学 客員教授	藤 本 貴 也	
11:30				
11:40	社会資本のストック効果の最大化に向けた これからの公共事業の展開について(仮)	国土交通省総合政策局企画調整課 事業総括調整官	佐 藤 寿 延	
12:20				
13:10	【特別講演】			
14:10	土木界におけるダイバーシティ推進の動向(仮)	東京工業大学大学院 研究員 小樽商科大学 非常勤講師	山 田 菊 子	
14:20	激甚化する最近の自然災害について(仮) ～災害への備えや災害時の初動対応など～	国土交通省水管理・国土保全局防災課 緊急災害対策企画調整官	吉 田 邦 伸	
15:00				
15:10	今後の技術研究開発の推進について(仮)	国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官	高 橋 敏 彦	
16:10				
16:10	閉会のあいさつ	北海道地区連合会 会長 (北海道建設部 技監)	小 林 敏 克	
(3日目) 集合 7:45～		9月16日(金) 【現場研修】		

### JR札幌駅北口ロータリー(8:15) 出発

- 千歳川遊水地整備群整備事業(下車説明) → 国道337号(長沼～千歳)地域高規格道路整備事業(下車説明)
- 昼食「道産市場」(千歳市内) → 厚幌ダム建設事業(下車説明)
- 新千歳空港(16:05) / 札幌駅(17:25) 着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。  
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

## 第625回建設技術講習会 現場研修事業の概要

### 1. 千歳川遊水地群整備事業（晩翠遊水地）

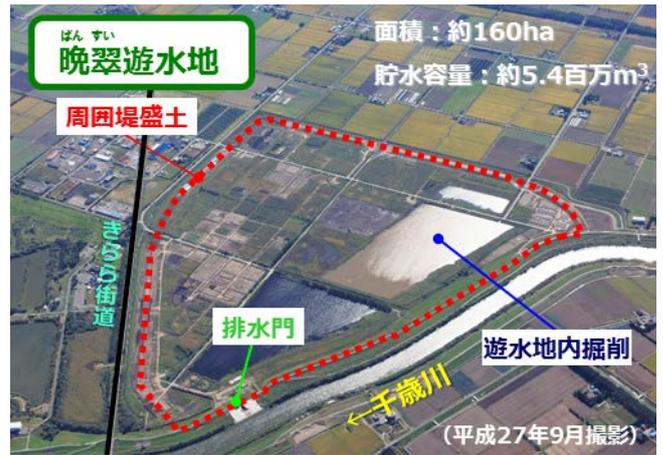
..... 空知郡南幌町

昭和56年8月の大洪水を契機に、千歳川の洪水時の水位を大幅に下げするため、石狩川の高い水位を水門により断ち、千歳川の洪水を放水路により直接太平洋へ放流する千歳川放水路計画を決定しました。しかしながら、この計画には様々な意見が出され、議論を経て千歳川放水路計画に代わる新たな治水対策である、「堤防強化（遊水地併用）案」を盛り込んだ千歳川河川整備計画を平成17年4月に策定しました。

千歳川の新たな治水対策は、河道の掘削、堤防の整備とあわせて、洪水時の水位上昇を抑えるために、遊水地群を流域4市2町の千歳川本支川の地先に分散して整備し、洪水被害の軽減を図るものです。遊水地群全体の面積は1,150ha、洪水調節容量は概ね5千万m<sup>3</sup>です。

千歳川遊水地群の整備にあたっては、平成20年度から用地取得等を開始。用地取得後は、遊水地内を通る道路等の移設補償を行うとともに、遊水地内の掘削工事や周囲堤の盛土工事等を進めています。遊水地群の一つである舞鶴遊水地（長沼町）は、平成26年度に完成、平成27年度から供用開始しています。遊水地群全体では、平成31年度完成を予定しています。

（視察キーワード：治水、景観等）



### 2. 国道337号 地域高規格道路（道央圏連絡道路）整備事業

..... 千歳市～小樽市

道央圏連絡道路は、高規格幹線道路と一体となって札幌圏の連絡機能を強化し、地域間交流の活性化及び国際的な交流拠点の新千歳空港、国際拠点港湾苫小牧港、重要港湾石狩湾新港への物流の効率化等の支援を目的とした延長約80kmの地域高規格道路です。

当該道路の整備により、道央都市圏の外郭環状道路として放射道路（国道等）と接続することで、札幌市内へ流入する通過交通の分散による交通混雑の緩和、物流拠点（空港、港湾等）と北海道縦貫自動車道や北海道横断自動車道との接続により周辺地域とのアクセス性が向上することに伴い、物流や人流の効率化による農業や観光等、様々な産業の活性化等が期待されます。

平成27年度末時点、現道活用区間（約13km）を含め約50km（約6割）が開通（4車線又は暫定2車線）しており、現在、残る約30km区間の早期開通に向け、事業（泉郷道路、長沼南幌道路、中樹林道路）を推進しています。

そのうち、泉郷道路（約8km）は、平成31年度（2019年度）の開通を目指し、現在、国土交通省が進めている「i-Construction<sup>※1</sup>」の取組を全国に先駆け導入し、ICT土工<sup>※2</sup>の第1号工事がスタートしています。

（視察キーワード：通過交通の分散、地域活性化、i-Construction、ICT土工等）



※1：ICTの全面的な活用（ICT土工）等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組

※2：平成28年度に新たに導入した技術基準や積算基準を適用し、施工プロセスの各段階においてICTを全面的に活用する工事

### 3. 厚幌ダム建設事業

厚幌ダムは、2級河川厚真川水系厚真川の北海道勇払郡厚真町字幌内地先に多目的ダムとして建設されます。ダム型式は台形CSGダムで、堤高47.2m、総貯水容量4,740万 $\text{m}^3$ 、有効貯水容量4,310万 $\text{m}^3$ であり、治水、利水及び河川環境の保全を目的としています。

厚幌ダムのダム型式である「台形CSGダム」をダム本体に採用し既に完成したダムとしては、当別ダム（北海道）、金武ダム（沖縄県）の2ダムだけであり、3番目の完成を目指し現在、施工を行っています。厚真川流域では開拓以来、台風や前線による大雨で幾度となく洪水に見舞われ、多くの財産が被害を受けてきました。このため厚幌ダムでは、洪水調節、河川環境の保全、水道用



水の確保、かんがい用水の確保を主な目的として建設しています。洪水調節は、ダムサイトにおける計画高水流量730 $\text{m}^3/\text{s}$ のうち340 $\text{m}^3/\text{s}$ を調節し、ダム下流域の洪水被害を軽減するとともに、動植物の生息・生育環境を保全するため、既得用水の利用や動植物の生息しやすい河川環境を保全するために、かんがい期最大3.65 $\text{m}^3/\text{s}$ 、非かんがい期最大1.30 $\text{m}^3/\text{s}$ を確保するため、ダム下流へ補給を行います。また、厚真川周辺は、胆振地方有数の稲作地帯となっており、厚真川本流と支流の河川水は、かんがい用水として広く利用されていますが、生産性の向上と農業経営の安定化を図るため、勇払東部地区の水田2,989haに対し、最大12.663 $\text{m}^3/\text{s}$ （平均8.142 $\text{m}^3/\text{s}$ ）のかんがい用水の取水を可能とします。水道用水の供給では、現在、厚真町は、厚真川と軽舞川の表流水や井戸水を水源として給水しています。近年では、公共下水道の整備による水洗トイレ化や、苫小牧東港へのフェリーの寄港数が増えるなど、使用水量の増加が見込まれています。このため、安全で安定した新たな水源の確保が急務となっており、軽舞川表流水と水道未給水区域の井戸水に替わる新たな水源として、1,353 $\text{m}^3/\text{日}$ 、本川の既得水道用水1,050 $\text{m}^3/\text{日}$ 、地下水源545 $\text{m}^3/\text{日}$ 、合計2,948 $\text{m}^3/\text{日}$ の取水を行い、厚真町内へ水道用水を供給します。

（視察キーワード：防災、河川環境等）

## 第625回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には札幌市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄  
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。  
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

### 斡旋する宿舎名、宿泊料

平成28年9月13日(火), 14日(水), 15日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ホテルルートイン札幌駅前北口 札幌市北区北7条西4丁目2-2 TEL011-727-2111	シングル	30名	7,560円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

### 案内図



講習会会場  
かでの2・7  
TEL.011-204-5100

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 \_\_\_\_\_  
(特別・賛助会員名、会社名)

**第625回建設技術講習会（これからの公共事業と建設技術者のあり方）申込書**

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般(非会員)	会員	正会員 30歳未満			予約日に○を記入して下さい		
							9月13日	14日	15日	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
<b>聴講料</b> ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」(賛助会員除く)						↑ 現場研修の昼食は不要の申し出はできません※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。			
<b>現場研修料</b> 名×7,600円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

**【お申込み時の注意について】**

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

**【お申込みについて】**

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

**【変更・取り消し・追加方法について】**

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

**【聴講時の昼食について】**

昼食の斡旋はありません。

**【現場研修時の昼食について】**

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

## 第625回建設技術講習会に参加の皆様へ！

### 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の連携・交流を図るとともに、講演いただく講師の方にもご参加いただき、直接質疑や意見交換を図り、今後の業務に役立てていただくことを目的に実施しています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

**日時**：平成28年9月14日(水) 18:00～19:30(予定)  
(第617回建設技術講習会 1日目講義終了後)

**場所**：ホテルモンテ札幌 1階「ケンジントン」(予定)

※開催場所が変更になる場合がありますので、当日ご確認下さい。

**会費**：2,000円(講習会受付時に徴収)

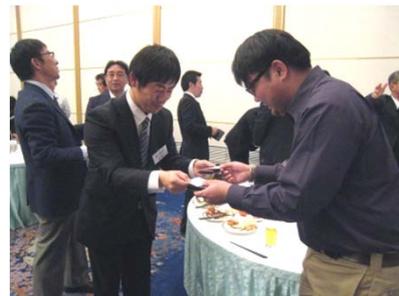
※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



#### 【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- |                           |          |
|---------------------------|----------|
| ・(一社)全日本建設技術協会 技術顧問       | 松田 芳夫 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 課長        | 石原 康弘 講師 |
| ・筑波大学システム情報系社会工学域 教授      | 石田 東生 講師 |
| ・(公財)日本道路交通情報センター 副理事長    | 藤本 貴也 講師 |
| ・国土交通省総合政策局企画調整課 事業総括調整官  | 佐藤 寿延 講師 |
| ・国土交通省大臣官房技術調査課 建設技術政策分析官 | 高橋 敏彦 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
  - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
  - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
  - ①講師との交流
  - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当  
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com